

vol.
100
2020
7/22 発行

いちのへ社協だより
ゆいっこ



CONTENTS

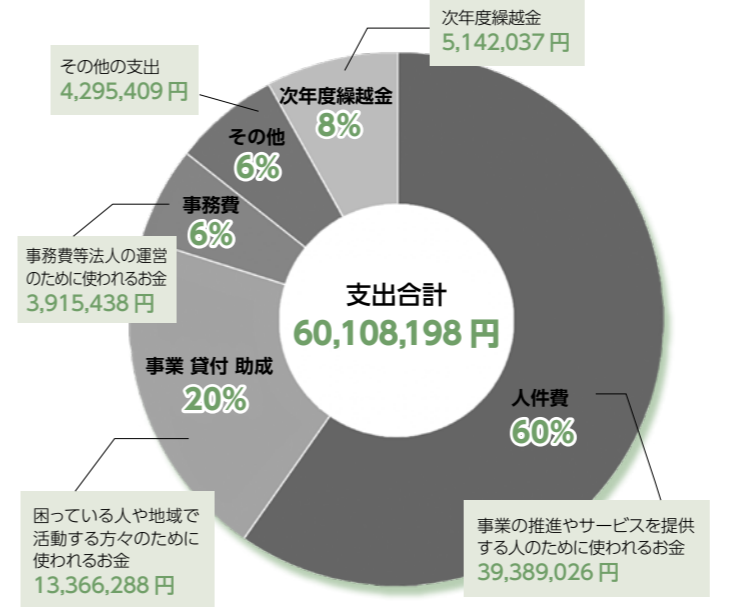
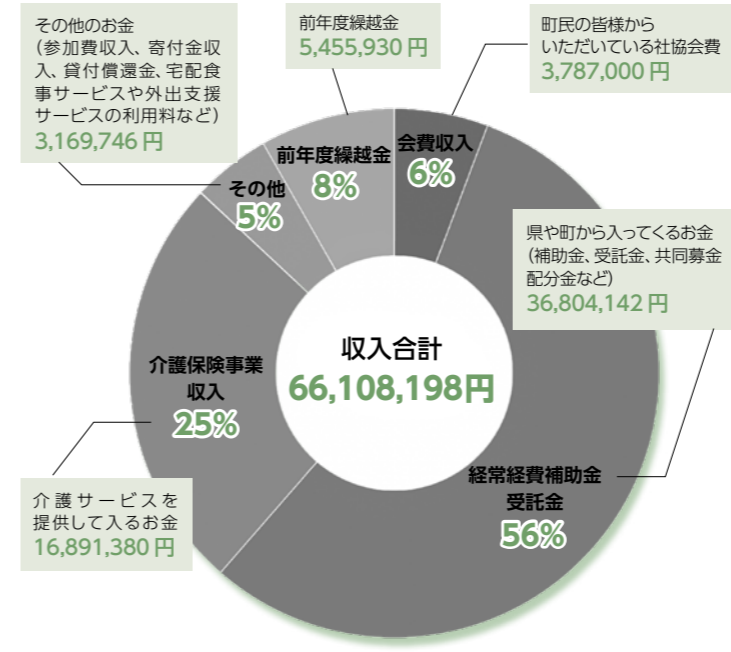
平成 31 (令和元) 年度決算報告	2	鳥海保育所・一戸学童クラブってどんなところ?	8 ~ 9
令和 2 年度予算概要	3	つながる地域つなぐて・と・て part5	10
できごとフラッシュ	4 ~ 5	社協からのお知らせ	11
令和 2 年度事業計画	6 ~ 7	相談日程表 etc	12

題号 "ゆいっこ" は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。

一戸町社会福祉協議会は、平成31(令和元)年度も住民の皆様や各関係機関からご協力いただき、事業を無事行うことができました。一戸町社会福祉協議会の平成31年度決算について次の通りご報告させていただきます。

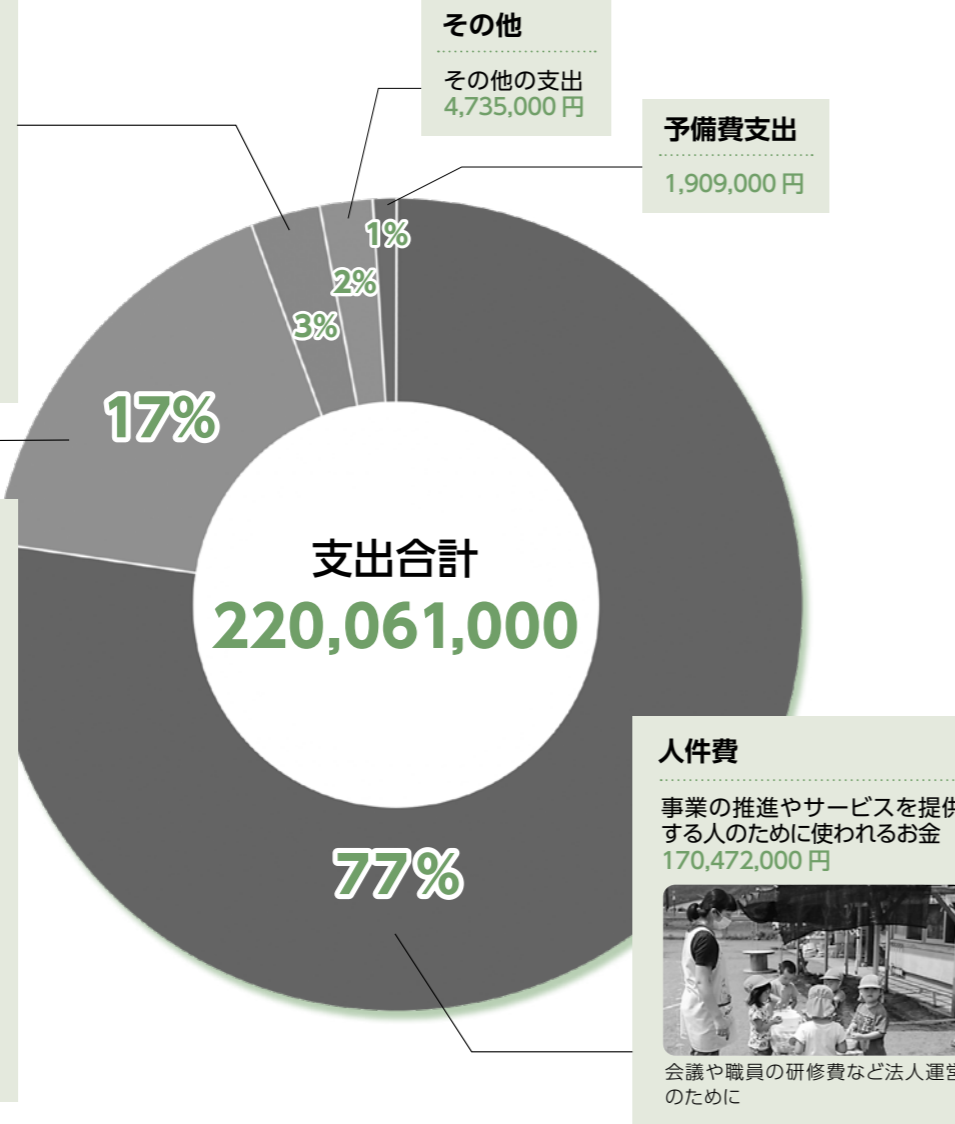
資金収支計算書(単位/円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	会費収入	3,787,000
	寄付金収入	105,600
	経常経費補助金収入	30,813,905
	受託金収入	5,990,237
	貸付事業収入	480,038
	事業収入	2,532,797
	介護保険事業収入	16,891,380
	受取利息配当金収入	1,161
	その他の収入	50,150
事業活動収入計(1)	60,652,268	
支出		
人件費支出	39,389,026	
事業費支出	11,745,121	
事務費支出	3,915,438	
貸付事業支出	287,000	
助成金支出	1,334,167	
事業活動支出計(2)	56,670,752	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,981,516	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
支出		
固定資産取得支出	1,563,980	
施設整備等支出計(5)	1,563,980	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,563,980	
勘定科目		決算額
その他の活動による収支	収入	
	拠点区分間繰入金収入	723,278
	サービス区分間繰入金収入	821,188
	その他の活動収入計(7)	1,544,466
	支出	
	拠点区分間繰入金支出	1,000
	拠点区分間繰入金支出	723,278
	サービス区分間繰入金支出	821,188
その他の活動による支出	2,730,429	
その他の活動支出計(8)	4,275,895	
特別増減差額(9)=(7)-(8)	△2,731,429	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△313,893	
前期末支払資金残高(11)	5,455,930	
当期末支払資金残高(12)	5,142,037	



おかげさまで 創刊 100号

令和2年度 予算概要

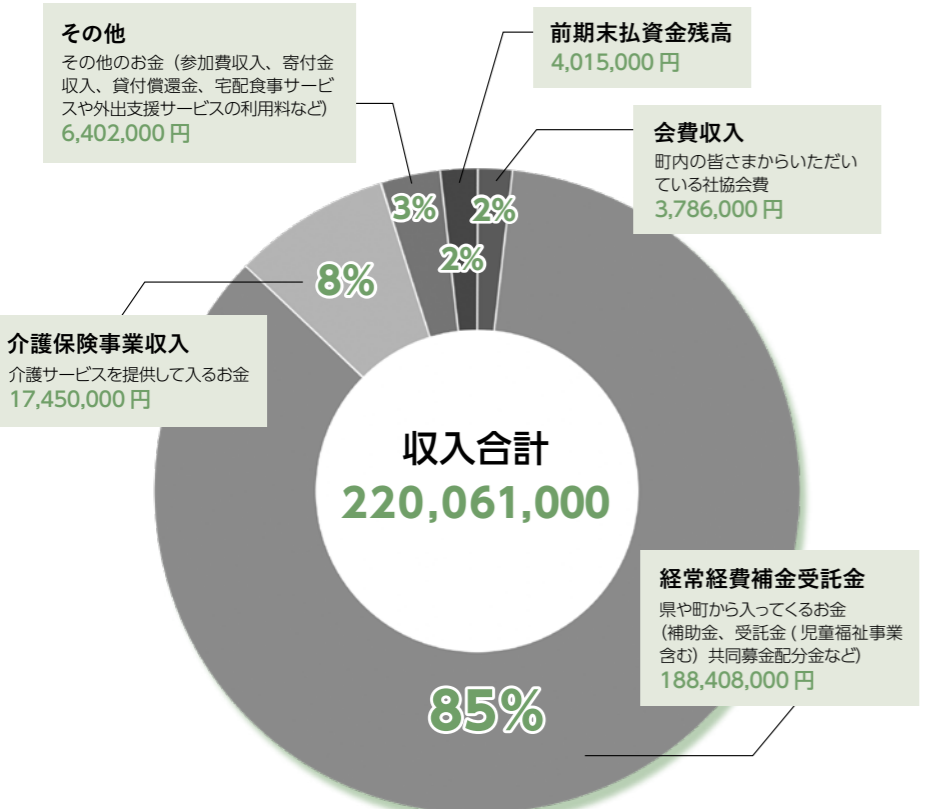


事務費
事務費等法人の運営のために使われるお金
6,212,000円
地域福祉、居宅介護、児童福祉など円滑な事業推進のために

事業貸付助成
困っている人や地域で活動する方々のために使われるお金
36,733,000円
高齢者への食事支援のために
地域の福祉活動を支えるために

人件費
事業の推進やサービスを提供する人のために使われるお金
170,472,000円
会議や職員の研修費など法人運営のために

一戸町社会福祉協議会では、令和2年度より町からの業務委託を受け児童福祉事業が開始され、保育環境を安定的かつ持続的に提供できる体制を目指し、当事業を展開していく運びとなりました。町立保育施設8カ所(保育所3カ所、児童館1カ所および学童クラブ4カ所)も含めて子育て支援に係る環境の充実を図り、保育所等の運営を通じ子育てしやすい環境の整備を図っていきます。



手づくりマスクの寄贈

5月1日と6月14日、鳥越川原田女性部さくらの会（大久保蝶子代表）より、「地域住民の感染症対策に役立ててほしい」と手作りマスク合計150枚が寄贈されました。5月26日には、地域活動支援センターのぞみ（梅田美代子センター長）より、利用者と職員みなで作ったマスク50枚が寄贈されました。

心を込めて作られたマスク合計200枚は、来田保養センターで行われている高齢者生きがい通所サービスの参加者の感染症対策として活用させていただきました。ありがとうございました。



さくらの会では、地域住民40世帯への各戸配布も行いました。



可愛らしい子ども用マスクも作りました。



地域活動支援センターのぞみのマスク制作の様子。販売用マスクも作っています。

祝100歳 長寿祝い贈呈

特別養護老人ホーム慶寿園を利用中の土川タヨさんは、5月27日に100歳を迎えられ、一戸町と町社会福祉協議会よりお祝いの花束や記念品などが贈呈されました。

また、米田ハナさんは6月17日に同じく100歳を迎えられ、百寿を祝う会が行われました。ハナさんは、現在もご自宅で一人暮らし。ご家族に祝福され、とても嬉しそうでした。お二人とも、これからも元気にお過ごしください。



ご家族と並び祝福を受ける米田ハナ様

高齢者生きがい通所サービス再開

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一時休止していた高齢者生きがい通所サービスは、6月15日より再開となりました。

当面は、マスクの着用や参加者同士の距離の確保など感染症対策を行いながらの実施となりますが、久しぶりの再会に会話が弾む参加者の姿がとても印象的でした。

これからも民生児童委員の協力のもと、高齢者の健康づくりのため安全安心なサービス提供を行ってまいります。



久々の再開で話に花を咲かせる利用者

多世代が集う場を目指して まるっとカフェ開催

一戸町地域包括支援センターと当協議会では、認知症になっても安心して暮らすことができる地域づくりを目指して、子どもから高齢者まで誰でも参加できる集いの場「まるっとカフェ」を開催することになりました。

今年度第1回目は6月30日、気まぐれ工房めくめく亭（中山大塚363）で、介護予防等に関する相談、アロマ体験ワークショップや手作りマスクの販売を行い、近隣住民10名が参加しました。

このイベントは、今後も月1回町内5地区にある商業施設等を巡回し開催する予定です。



アロマの優しい香りにもまれて、リラックスして会話を楽しみました。



感染症対策により地域住民手作りの販売も行いました。

孫世代のための認知症講座開講

奥中山小学校4年生18名を対象に、6月22日、孫世代のための認知症講座（主催…一戸町地域包括支援センター、協力…一戸町社会福祉協議会）を実施しました。

講座では、認知症になつて衰退した脳の動きを身体を動かして体験したり、認知症の人への接し方について考えるグループワークを行いました。どの子どももみな真剣に考え、積極的に意見を申し合っていました。受講した坂本陽菜さんは、「認知症の人がいたら優しく声をかけてあげたい」と話してくれました。参加した児童には、認知症サポーターの象徴「オレンジリング」が手渡されました。キッズサポーターの活躍に期待し、これからも孫世代への認知症理解普及に努めていきたいと思えます。

一戸南学童 遠足へ

一戸南学童では5月25日、一戸町総合運動公園へ遠足を行いました。

この日は前日に行われた運動会の代休でしたが、運動会の疲れはなんのその。青空の下、弾ける笑顔で駆け回り大好きな遊具で遊ぶ子ども達はとても楽しそうに過ごしていました。



すべり台を楽しむ一戸南学童の児童達



グループワークで出した意見をみんなに発表しました。



オレンジリングを手に笑顔で記念撮影をする児童達

育てよう福祉の心 住みよい町をみんなの手で

令和2年度事業計画

重点項目

- 1 地域包括ケアシステムの構築
- 2 介護保険事業の運営
- 3 在宅福祉サービス事業の運営
- 4 保育施設の受託管理
- 5 地域福祉活動の推進



新たな社会資源の創出と支えあう地域づくり
(地域包括ケアシステム)

生活支援コーディネーターを配置し、地域課題の掘り起こしやネットワーク構築などを通じて、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住民同士の助け合い支え合いの地域づくりを推進していきます。また、昨年度より配置された認知症地域支援推進員を中心として、認知症になっても安心して生活できるよう、認知症への理解啓発活動を展開します。



令和元年度一戸町訪問助け合い活動ボランティア養成講座



高齢者の在宅生活を支援
(介護保険事業の運営)

介護支援専門員(ケアマネジャー)が、ケアプラン作成を通じて介護が必要な方の生活を支援いたします。
《主な事業》
ケアプランの作成、介護保険に関する相談援助、職員の資質向上など



住民の安心安全な暮らしをサポート
(在宅福祉サービス)

公共交通機関での通院が困難な方への移動支援、一人暮らし高齢者の定期的な見守りなどの地域課題に応えるため、町から受託した事業を展開します。これまでに、住民の安心安全な暮らしを支援していきます。
《主な事業》
福祉有償運送サービス、宅配食サービス、高齢者生きがい通所事業



公共交通機関の利用が困難な方の通院時移送支援



地域の困りごとに寄り添い、住民の自主的な福祉活動を促進(地域福祉活動)

生活困窮、権利擁護、介護や子育てに関することなど、住民の困りごとに寄り添い、生活課題の解決に努めます。
地域住民や各種団体が、主体的に地域活動に取り組めるよう支援します。
《主な事業》
相談事業、日常生活用具無料貸与、地域福祉活動助成、福祉教育、広報啓発など



令和元年度第44回一戸町いきいきシニアスポーツ大会



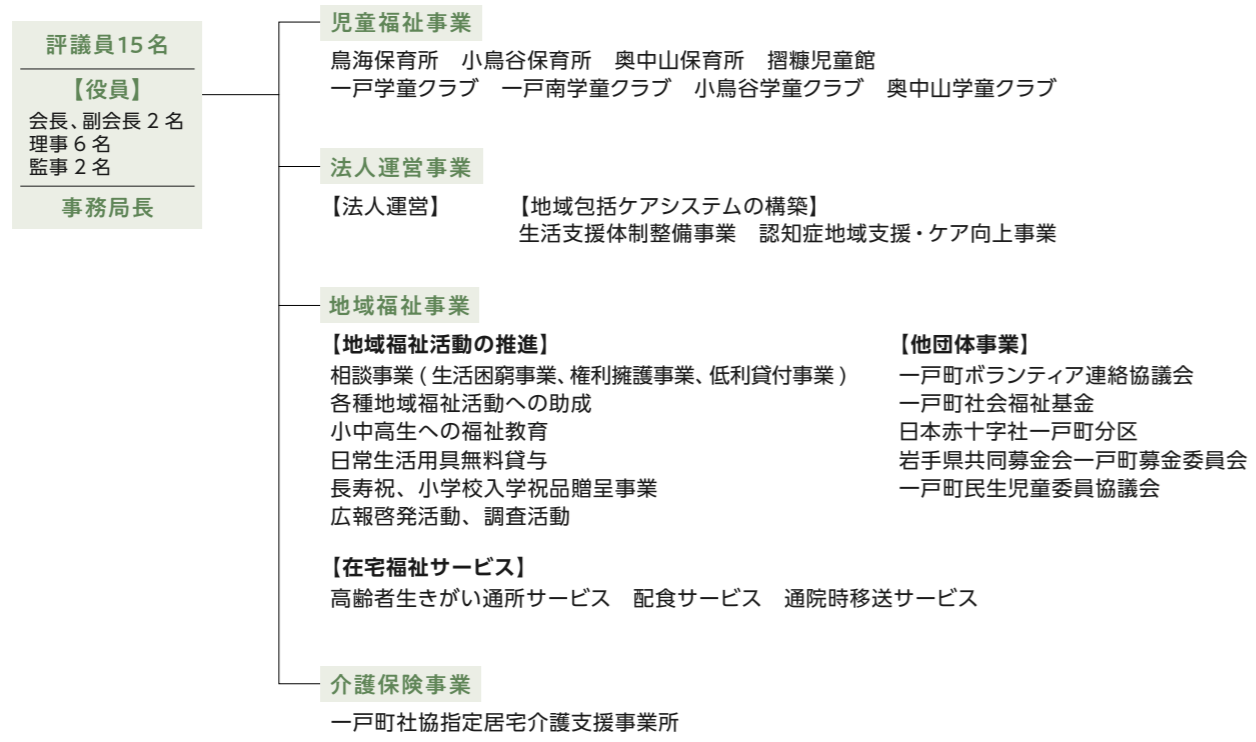
子どもたちの健全育成と子育て支援
(保育施設の受託)

今年度新規受託事業となります。行政や各保育施設等との連絡調整を行い、子育ての親はもとより地域社会との連携・交流を深めます。そして豊かで多様な人間として、生きる力を持つ子どもの育成に努めます。
《受託施設》
鳥海保育所、小鳥谷保育所、奥中山保育所、摺糠児童館、一戸学童クラブ、一戸南学童クラブ、小鳥谷学童クラブ、奥中山学童クラブ



子ども達の健全育成と保育職員の資質向上を図る。

法人組織体制





一戸学童クラブ

ってどんなところ？



鳥海保育所

ってどんなところ？

一戸町社会福祉協議会では、今年度より町内8つの保育施設等の運営を町より受託することとなりました。今年度の広報では、受託した全施設を順次紹介をしていきます。

学び 自主性



今日の宿題もバッチリ終わり！！

社会性 規律性



みんな一緒におやつの時間。

健康 協調性



みんな並んで元気よく、はいポーズ！

《季節のイベント》



春、毎年田植え体験を行います。



夏休みには夕涼み会を開催。



バスに乗って遠足にも出かけます。

なかよくげんきに



見て！みんなで作ったよ～！

おもいやりをもてる



お友達の分も、はい、どうぞ。

こころをよせて



先生のおはなしも静かに聞けるよ。

できることはじぶんで



お箸だって、上手に使えます！

ひとことPR

施設データ

(令和2年7月1日現在)

施設名	一戸学童クラブ
所在地	一戸字砂森 149-13
施設長	下村孝子
職員数	5名
児童数	86名

施設データ

(令和2年7月1日現在)

施設名	一戸町立鳥海保育所
所在地	一戸字砂森 151-2
施設長	下村孝子
職員数	13名
児童数	57名



鳥海保育所 下村孝子所長

「おはようございま〜す！」子ども達の元気な挨拶で、鳥海保育所の日が始まります。

笑顔あふれる57人の子どもの達が、身近な自然の中で虫や草花、野菜などに親しみ、友だちと一緒に水遊びやどろんこ遊びを心ゆくまで楽しんでいきます。

異年齢の友だちと触れ合ったり、運動会や生活発表会という行事も経験しながら、心身共にやさしく、たくましく成長してほしいと思います。

ひとことPR

次号では、摺糠児童館と二戸南学童クラブをご紹介します。

一戸学童クラブは、一戸小学校1、2年生の空き教室をお借りして、毎日平均70名以上の児童が利用して稼働しています。

小学校の校庭では鬼ごっこやサッカー、フリスビー等、室内ではボードゲームや読書等学童で一番大切な「遊び」を日々楽しんでいます。これからも地域、学校の先生方との交流や連携を大切に、子どもたちと保護者と共により良い遊び、生活の場を作ってきたいと思います。



一戸学童クラブ指導員の皆さん

社協からののお知らせ

社会福祉協議会会費の納入にご協力をお願いします

一戸町社会福祉協議会は、地域住民同士が支え合いながら自分らしく活躍できる「地域共生社会」の実現を目指しています。事業の実施においては、町民の皆様からの会費、町からの補助金・委託料、共同募金助成金などが財源となっております。よりよい福祉のまちづくりに向けて事業推進を図ってまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。社協会費は、以下の社協事業にあてさせていただきます。

- ・歩行が困難な方の通院をサポートする外出支援サービス
- ・在宅の調理が困難な方への宅配食事サービス
- ・お金のことから育児・介護のことまで何でも相談事業
- ・町内小中高生の福祉教育
- ・町内の乳幼児へのチャイルドシート無料貸出

会費金額：一般会員世帯 800円
特別会員世帯 2,000円
納入方法：各地区の行政連絡員や町内会を通じ納入をお願いいたします。
問い合わせ
一戸町社会福祉協議会 / ☎ 33-3385



町内小中高生への福祉教育へも活用しています。

くらしの相談窓口出張相談会のお知らせ

「就職しても長く続かない」や「収入はあるが借金があって生活が苦しい」、「人とのコミュニケーションが苦手だ」などくらしの中の様々な悩みについて相談してみませんか。

一戸町にお住まいの方を対象に、お住まいの地域で出張相談会を開催します。

日時：令和2年9月25日(金)、12月18日(金)
令和3年3月5日(金) いずれも午前10時00分～正午
会場：一戸町総合保健福祉センター
申込方法
問い合わせ先へ電話などでお申し込み下さい。(当日参加可能)
問い合わせ先
二戸市社会福祉協議会 くらしの相談窓口 / ☎ 43-3588

住宅確保給付金のごあんない

離職や休業・新型コロナウイルスの影響により収入が減少し家賃の支払いにお困りの方を対象に、家賃相当額を自治体から家主に支給します。下記要件を全て満たす場合は、対象となる可能性が高いためご相談ください。

- 要件：**
- ① 離職・廃業から2年以内、またはやむ負えない休業等により収入が減少した人
 - ② 世帯収入が右記基準額未満であること
 - ③ ①の状態になる以前、世帯生計を主として維持していた人

基準額：

世帯人数	基準額(手当・年金等含)
単身	109,000円
2人	152,000円
3人	181,000円
4人	218,000円

支給額：

世帯人数	支給金額(上限額)
単身	31,000円
2人	37,000円
3人以上	40,000円

問い合わせ先
二戸市社会福祉協議会 くらしの相談窓口 / ☎ 43-3588



つながる地域 つなぐて・と・て part 5



いちの会

かつて一戸では当たり前だった活気ある地域づくり、誰もが自然に手を差し伸べ支え合い助け合える地域づくり…そんな光景を再び一戸に取り戻したい！！社会福祉協議会は、住民が手と手を取り合い支え合う地域づくりの実現を目指しています。このページでは町内の住民主体による地域活動によって、地域が元気になる様々な「つながり」が生まれていく様子を毎号シリーズで紹介していきます。

趣味と特技と、 それから地域貢献へ

6月16日(火) 午前10時、町民文化センターの1部屋で朝から4台のミシンの音が響いていました。梅雨の湿度とミシンの熱でむっとする部屋の中、黙々と寝たきり高齢者の清拭布を縫い続ける「いちの会」の皆さん。慣れた手つきで、さらしの反物から次々と清拭布を完成させていきます。

「いちの会」(代表常前玲子さん)は、町民文化センター定期利用団体に登録して活動する趣味の会です。町内に住む女性を対象に、お茶やお花、裁縫の教室を開催して40年余り。活動を始めた当時から今も変わらず、それぞれが自分の特技に応じて先生になったり生徒になったりと活動の幅を広げています。

昭和59年頃、ボランティア精神旺盛な会員の声で、いちの会は社会福祉法人慶寿園でボランティア活動を始めることになりました。慶寿園が法人を設立した年のことです。あれから約35年、趣味と特技と、それ



清拭布の作製に集中するいちの会の会員。



から地域貢献とを目玉に活動を継続してきました。

小さな親切の芽を 絶やさぬように

慶寿園でのボランティア活動は、施設内の清掃や園祭りの手伝い、クッション作りなども行いましたが、いつしか清拭布の作製が定例となりました。50反のさらしから350枚程の清拭布を縫う作業を6月と10月の年2回行います。1日では到底縫いきれず、各々が自宅に持ち帰りミシンが熱くなるまで作業は続きます。このような地道な活動が評価され、平成18年には公益財団法人「小さな親切運動」本部より表彰を受けました。

清拭布は、感染症に備え使い捨てしなければなりません。慶寿園では利用者思いが素材に拘ります。そのため何枚あっても足りません。慶寿

1反の布に折り目を付け裁断。どの工程も丁寧かつ細やかです。



作製日には、慶寿園駒木弘子園長も激励に訪れました。駒木園長(下段中央)といちの会の皆さん。



徐々に作り上げられていく清拭布の山。

園駒木弘子園長は、「介護職員が全て縫っていたが、いちの会がその一部を長年担ってくれ本当に感謝の気持ちでいっぱい」と話します。当時20名程もいた会員も、現在は6名に減少。「いつまで続けられるかわからないが、可能な限り頑張りたい」と話す会員の皆さん。形は違っても、いちの会のような小さな親切の芽を絶やさぬよう、若い世代へ継承していかなければならないと感じました。

各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	くらしの相談窓口	ふれあい相談
開催日	7月14日(火) 7月29日(水)	7月21日(火)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)
	8月11日(火) 8月25日(火)	8月18日(火)		
	9月 8日(火) 9月23日(水)	9月15日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:15	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 23-5800※要予約		二戸市総合福祉センター TEL 43-3588	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 33-3385

寄付御礼

(令和2年3月20日～令和2年7月1日取り扱ひ分)

◆鳥越川原田女性部さくらの会様 手づくりマスク150枚



◆地域活動支援センターのぞみ様 手づくりマスク50枚



災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金会や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

平成30年7月豪雨災害義援金

(受付期間：令和3年6月30日まで)

令和元年8月豪雨災害義援金

(受付期間：令和2年8月31日まで)

東日本大震災義援金

(受付期間：令和3年3月31日まで)

令和2年7月豪雨災害義援金

九州を中心として広域にわたり甚大な被害が生じた、令和2年7月3日からの大雨災害に対する義援金の受付を開始いたしました。(受付期間：令和2年12月28日まで)

各種災害義援金については一戸町社会福祉協議会
(TEL 33-3385) までお問い合わせください。



編集後記

今年2020年、一戸町社協は法人設立50周年を迎えます。このような節目の年に、広報ゆいっこ第100号を発行することができ大変嬉しく思います。これも住民の皆様のお力添えのお陰と、心より感謝申し上げます。

昭和56年発行の第1号の表紙を飾ったのは、元気に走る小鳥谷小学校1年生(P2参照)。40年の歳月を経て発行する今回第100号の表紙には、再び元気な小学生を選びました。

今年度新たに保育施設等の運営を担い、次なる歴史のスタートを切った私たち一戸町社協には、子どもたちが将来に向かって大きく羽ばたけるよう支えていく責任があります。いつまでも子どもたちの笑顔が輝き続ける一戸町でありますように…。(小野寺)

社会福祉法人一戸町社会福祉協議会

〒028-5321 一戸町一戸字砂森93-2(一戸町総合保健福祉センター内)
TEL 0195-33-3385 / FAX 0195-33-2737
ホームページ <http://ichinohe-shakyo.jp/>



表紙の紹介



5月25日(月)に行われた、一戸南学童クラブの一戸町総合運動公園への遠足でのひとコマ。晩春の青空の下、元気いっぱいジャンプする子どもたちはまさに青春でした。(P5参照)